

株式会社藤田ワークス

平成 25 年度 補正予算事業

難削材料のエッジ、バリ等除去向上のための研削設備導入による航空分野への参入

航空分野への参入のために、金属加工面のエッジ、バリ、ドロスの除去を、難削性の高い材料（チタン、ジュラルミンなど）で確立する必要がある。当社が保有する高品質ブランク加工と研削設備の導入によって課題解決を図る。



難削材対応の研削設備

事業のきっかけと目的

Motivation

参入を目指す航空分野では、加工する板材料がチタン、ジュラルミンのような難削材料が多い。溶接が難しく、板金加工の参入は少ないのが現状である。航空部品の溶接製品において、溶接部の処理は重要で、高いレベルの技術が要求される。ブランク加工の品質を高めると同時に、発生するエッジなどを除去する難削材対応の研削設備を導入し、高品質な溶接を実現する。

事業の取り組み内容と成果

Progress

研削加工条件に合った精密加工及び接合・実装技術を活用した難削材対応の研削設備を選定し導入した。当社が保有する高品質ブランク加工と今回導入した設備により、難削材（ステンレス、アルミ合金）において、C面、R面取りの削り代の面で顧客基準を満たすレベルの研削が可能となった。

株式会社藤田ワークスの思い



藤田ワークスがお客様にとってのオンリーワンであり続けること、それは、技術力を研鑽し続け、常に最高の製品をお届けすること。オリジナリティに磨きをかけ新しい価値を生み出すこと。そこに私たち藤田ワークスの存在意義があります。



8軸ブラシによる研削効果大



安全に配慮された構造



ステンレスの研削事例

事業化に向けての今後の取り組み

Future

当社は既に航空関連の顧客を有し、客室乗務員の作業エリアであることから、エッジ品質には厳しいがゆえに本設備が有効に活躍することになる。現在は、JIS Q 9100 航空宇宙品質マネジメントシステムの審査を終え、体制が構築されてきた。顧客は、シート事業で世界トップシェアを目指しており、本技術による貢献を含め、受注拡大に取り組んでいく。



企業の生き立ち

昨年、創立70周年を迎えたわが社は、昭和20年の終戦の年に先代の藤田修二により産声を上げた。現社長の藤田幸二により、精密板金事業への転換を図り、板金加工に特化したものづくり、世界一の技術水準を常に求め、顧客にとって選ばれる企業を目指している。



藤田ワークス is ONLY ONE

事業者	株式会社藤田ワークス
代表者	代表取締役 藤田 幸二
設立年月日	平成2年4月2日
所在地等	〒899-4317 霧島市国分上野原テクノパーク12番18号 TEL 0995-46-6100 FAX 0995-46-7364 E-mail info@fujitaworks.com URL http://fujitaworks.com/
事業の種類	ものづくり技術
資本金額	1,000万円
従業員数	121名
業種	精密板金加工業